

# 農学部自治会の良い所：農学部教務掛の方々と仲良くなれる

文責：羽瀬川カエデ

農学部自治会の仕事をしていると、農学部教務掛に行く機会が増える。

- ・教室貸出申請のとき
- ・新しく通販で購入した物品の受け取りを教務にしてもらうとき
- ・自治会室の換気扇点検などの依頼のとき
- ・農学部新歓の際に各学科の教員への連絡のお願いのとき
- ・最近変更された制度について質問をしに行くとき

などなど。

こういうことをしているうち、教務掛で働いている方々に名前を覚えてもらえる。こちらも職員さんの名前を覚えてくる。

すると、自治会とは関係のない場面でも話しかけやすくなり、なんだか農学部総合館に居場所が増えた気がしてくる。**自分のことを知ってくれている人がいるということは、少なからぬ安心感につながる。**

私は二回生ごろに（恥ずかしい話であるが）授業が億劫になりあまり褒められた成績をとっていなかった時期があったが、その後再び本腰を入れて勉強を頑張っていたら、講義をとっていた教員から教務へ、なぜか私のことが話題にのぼったらしく、たまたま教務に行った際に「〇〇くん、頑張ってるみたいやんか」と褒めてもらった。「いやいやそんなことないです」などと言いながら、勉強の目的を見失いがちな時期に心の支えとなる一言をかけてもらったことは、とても有難かったし、嬉しかった。

また、教務掛の方々のうち一部の人は異動があるけれど、ほかの多くの人たちはいつも農学部教務掛で働いておられる。私が一回生のころから私を知ってくれている人がいるという安心感は何物にも代えがたい。

また、農学部自治会の仕事とは関係なく、教務の方と話す機会というのは多い。人によってさまざまだが、

- ・履修登録関係の質問
- ・農学部専門科目での質問
- ・転学科手続き
- ・留学手続き
- ・休学手続き

人によっていろいろだ。

ただし、こうした機会は一年を通して数回有るか無いかくらい。

**ぜひ教務のひとびととの縁も、大事にしてほしい。**